

危険！ ぼんやり運転、事故原因の・・・6割

- ①晴れて気持ちいい
- ②早く家に帰りたい
- ③まっすぐに伸びる道

◇「走りやすい道」・・・で、気の緩み・・・が事故の原因◇

2016年05月14日 12:20

山形県警が過去5年間に発生した死亡事故を分析した結果、考え事や脇見などで前方をよく見ていなかった「ぼんやり運転」が約6割に達することが13日、県警交通部の調べで分かった。

事故を招く危険要因は「晴れて気持ちいい」「早く家に帰りたい」「まっすぐに伸びる道」の三つ。

「走りやすい道」などの気の緩みが事故を招いているとして注意を呼び掛けている。

「ぼんやり運転」が引き起こす事故で、最も犠牲になるのが横断中の歩行者だ。

特にドライバーから見て、右から道路を横切っている人が事故に遭う割合が高い。

センターラインを越えて対向車と正面衝突する事故。

時間帯で最も多いのが、午後5時～同8時。

運転時の状況は、見通しがいい直線を同じ速度で走行。天候は晴れとなっている。

『自分だけは大丈夫』との意識を捨て、常に緊張感を持ってハンドルを握ってほしい」と話している。

事故を起こしてから、後悔してどうする？

交差点 信号が、「青」に変わった！ チョット待て！ もう一度、安全確認しよう

バックは、『カメが歩くスピードの気持ちで！』

車間距離を十分に！ 追突を未然に防止

- 一時停止 ⇒ 二度停止
- 前車発進 ⇒ 2秒後に発進

子供は、動く赤信号！

同じ会社の車同士の事故は・・・保険の対象外です

交差点 信号待ちのバスに・・・宿泊研修のバス2台追突 中学生8人搬送

「前のバスが停止したことに気がつくのが遅れた」

◇動いているときは・・・100%運転に集中！ 車間距離も十分にとりましょう◇

2016年5月14日(土)19時20分

14日午後2時、神戸市の国道の交差点で、信号待ちをしていた観光バスに、後続の観光バスが追突した。双方のバスには宿泊研修から帰る途中の中学の1年生らが乗っており、頭を打ったり体調不良を訴えたりした生徒8人が病院に運ばれたが、いずれも症状は軽いという。警察や学校によると、生徒160人と教員13人は4台のバスに分乗。生涯学習施設で1泊し、学校に戻る途中だった。2号車に3号車がぶつかったといい、3号車の男性運転手(50)は「前のバスが停止したことに気がつくのが遅れた」と話している。

交通量の多い交差点、左折の車にはねられ 自転車の男子高校生が重傷

2016年05月15日 11:00

14日午後0時25分ごろ、千葉県の交通量の多い交差点で、横断歩道を自転車で渡っていた男子高校生が、左折してきた乗用車にはねられた。男子高校生は腹部を強く打つ重傷で、ドクターヘリで病院に搬送された。警察は乗用車を運転していた無職男性(49)から任意で事情を聴き、詳しい事故原因を調べている。男子高校生は学校からの帰宅途中とみられ、車、自転車ともに信号は青だった。男性は「ぶつかるまで気付かなかった」と話しているという。

バス事故遺族ら・・・運行管理者への捜査徹底申し入れ

2016年5月15日(日)21時15分

乗客乗員15人が死亡した長野県軽井沢町のスキーツアーバス事故の発生から15日で4か月がたった。遺族の一部でつくる「軽井沢スキーバス転落事件被害者遺族の会」は同日、捜査本部が置かれている軽井沢署を訪れ、事故を起こしたバス運行会社の運行管理者への捜査を徹底するよう申し入れた。会の代表や同席した弁護士によると、県警幹部は「運行管理者個人と会社の双方の刑事責任追及を視野に捜査している」と応じたという。その後、遺族らは事故現場の献花台で手を合わせた。会の代表は「子供たちの無念さ、悔しさ、痛さを一生忘れない」と話していた。

午後6時 自転車転倒・・・乗用車が衝突 自転車男性死亡

◇前方で何が起こるか・・・、車が動いているときは100%運転に集中してください◇

2016年5月16日 00:13

15日午後6時ごろ、栃木県の県道で、無職男性(71)の乗用車が、無職男性(87)の自転車に衝突、自転車男性は出血性ショックで間もなく死亡した。警察によると、乗用車は走行中、前方の横断歩道付近で転倒していた男性と、自転車に衝突したという。